

群馬大学工業会・東海連合支部

第11回絵画鑑賞会

日時：2022年4月23日（土）15：00－16：00

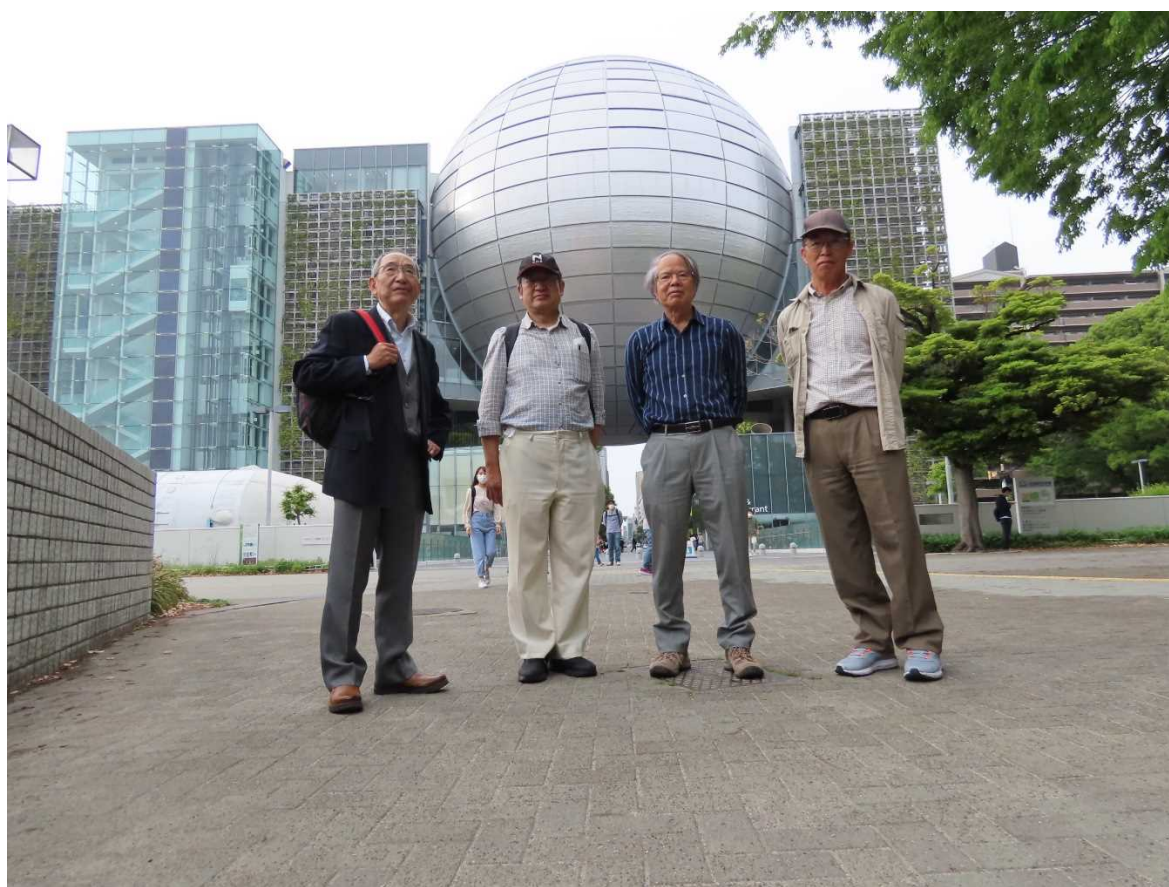
場所：名古屋市科学館、名古屋市

参加者：新澤洋保（S42C）、松永恒男（S47C）、佐野（S62W）、清水堪蔵（S49C）の4名

特別展 大地のハンター展（2022年3月12日～2022年6月12日開催）

今回は絵画ではなく、陸に上がって4億年のうちに多様化したハンター（捕食者、動物、鳥、昆虫等）の顎、歯の進化、ハンティングテクニックに注目した、標本、はく製、分かり易い説明の展覧会であった。子供に人気の展覧会なので、家族連れの参加を期待したが、家族連れの参加者はなかった。野鳥の写真愛好家の清水は、子供心を持ち続けているので、興味があった。

会場に入ると白亜紀の巨大ワニ（全長12m）の標本模型の大きさに度肝を抜かれた。ヒグマ、トラ、ライオン等の猛獣のはく製、数10種類のフクロウのはく製等に引きつけられた。



名古屋市科学館の前で。左から新澤さん、佐野さん、清水、松永さん

5月の絵画鑑賞会は、5月21日（土）平山郁夫 遙かなる道 於パラミタミュージアムを予定しています。

文責：清水堪蔵（世話役）